

情熱

J R 東 労 組 大 宮 地 本 青 年 部
発 行 責 任 者 畠 山 豪 部
編 集 責 任 者 教 宣 部

No.012 2022 年 11 月 15 日

申6号「年末手当等に関する申し入れ」第3回交渉



青年部員・若手未加入者から怒りの声続出！③

今回も「会社は社員のことなど何とも思っていない」ということが全面に出された回答だった。この間の交渉で「受け止める」と散々述べているが資料を読めば読む程「社員に思いを馳せている部分が全くない」と感じる。平気で議論を無視して自己主張のみをして「コレで納得しろ」と。「俺は何のために」「若手は何のために」 普般的な業務や様々な施策に懸命に取り組んできたのだろうか。黒字転換されて、コロナ禍からの脱却も視野に入れながら、曇っていた先行きも少しは明るい兆しが見えてきたのに…年間支給が 6.0 ヶ月以上あった当社で今年度は 4.76 ヶ月。これでは若手に転職を促しているようにしか思えないし、家庭を持ち今の生活の確保のために転職という退路を断られた方は唇を噛むしかないのか、と怒りしかない。文字ばかりの誠意などいらない。労働力の最たる賃金で示せ。この回答に到底納得がいかない。少なくてびっくり。物価上昇に賃金が追い付いていない。役員報酬は元に戻ったのだから私たちの給料も元に戻すべき。2019 年以降、職場の悔しい声を集めて届けて、再申し入れしてきて何も変わらず、納得行く回答を得たことは 1 度もなく、22 夏の手当の時も「赤字が出せない要因の 1 つだ。」と言っていたが、お客さまも戻りつつあり、黒字になってもこれ。さらには覚悟を持った回答と言う。これでモチベーション上がる人いたら、笑う。役員報酬をカットしていないにもかかわらず、社員への給与をカットするのは到底納得出来ない。第 2 四半期決算は黒字であり物価も上がっている中、賃金が上がらないのは本当に苦しい。会社を離れることを本気で検討し始める人が出てきてもおかしくない。会社のコロナショックからこの間までの社員の働きへの対価がこの回答だとするならば、少なすぎる。社員、組合員をなんだと思っているのか? 完全に舐めているとしか感じない姿勢に思う。様々な情勢を加味して回答判断を行ったと言うならこの円安、物価上昇による社会の(国の賃上げ後押し)状況に対しての考えや安全設備に対する値上げや投資は出来るのに人材への投資はできないのは何故かと問いたい。出ただけマシだと言っている社員はおそらく入社歴の浅い社員かと思うが、冬に 3 ヶ月以上もらった経験のある社員はどのように感じているのか気になる。いずれにしても会社は再申し入れに対して回答を変えるつもりはないと「覚悟をもって」回答しているそうなので、新鉄労のような席上妥結してしまう組合があって、社員どころか組合の足並みが揃わない状況ではこのまま押し切られるかも知れないがこの悔しさ、怒りを忘れることなく、状況の打破のためにも組織拡大が必要だと感じた。他労組の弱気な要求、会社と繋がったような関係そのものが年末手当交渉の妨害になっている。賃金の割引はし放題なのに、社員に求めることは割引されない。役員報酬をカットしないのなら社員への給与もカットされないはず。給与カットなら役員報酬もカットすべき。社員・家族の不幸を実現する姿勢。掲げられている施策や方針に大いに矛盾している。変革 2027 の実現からは遠のく。こういう会社の姿勢が経済悪化をより後押ししている。カネは経済の血液。回らないと元気にならない。毎回出される夏季年末手当の社長からのメッセージもマンネリ化しており、説得力もなく機械的であり、心には響かない。率直な感想として、少ないなと思った。黒字転換している割には昨年と比較した上げ幅が小さすぎると個人的には思った！正直な意見としては、確かに物価も高騰してるのでもう少し貰えたら嬉しいです。ただ、若手社員の自分としては頂けてるだけまだ有難いとは思いますが、率直に残念。



青年部員・若手未加入者から怒りの声続出！その④へ